

平成25年度事業報告書

大慈学童クラブ

1. <法人ヴィジョン>

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. <基本方針>

- ①児童福祉法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき児童の人権を尊重する。
- ②共同で行動することを通して、生活習慣、人間関係、思いやり等が身につくように援助する。

3. <目標>

①利用者のニーズを把握し、ニーズに沿ったサービスを提供する。

- A) 定額制での延長保育の受け入れ。
- B) 保護者への子どもに関する相談業務。
- C) 昼食会の質の向上。

・原則、延長保育は19：00までとしているが、仕事で19：00までにお迎えに来られない場合等、利用者のニーズに応じて、19：00以降も延長保育を行った。

・警報時、学校が休みの場合でも保護者は仕事がある為、保護者の送迎があれば、預かりを行った。

・学童から習い事や病院に通える様、個別に対応した。

・保護者のニーズに応え、昼食会は毎月実施し、少なくとも月2回、昼食の提供を行う様にした。また、昨年度の課題として上がった質の向上についても意識し、食事の提供を行った。

②リスクマネジメントに基づき、リスクの軽減を図る。

A) リスク会議の場だけではなく、日頃よりリスクマネジメントを意識し、リスクの軽減に努める。

・リスクマネジメント会議の場だけではなく、日頃よりリスクを感じた場合は、職員間で話し合い、改善に努めたが、未然に防げるリスクも起こってしまった。来年度は、そういった点が少しでも改善される様に職員間で声を掛け合い、リスクに対する意識の共有化を図っていききたい。

・不審者の情報が入った時の対応を保護者に聞き、個別に実施した。また、学童中、警報が出た時は、送迎等について保護者に連絡確認し、個別に対応した。

③職員の資質の向上。

A) ヴィジョンに沿ったサービスの提供、保育が出来る様に各職員、自己啓発を行う。(研修参加等)

・職員の資質の向上を図る為に施設外の研修だけではなく、施設内に講師を招き、コーチング(心理)研修を今年度も行った。コーチング研修では、どういう表現をすれば相手に届きやすいか等、対人関係に関するスキルを学んだ。少しずつだが、実践で活かせる様になってきているので、今後も資質の向上を意識し、研修等に参加していききたい。

4. <<保健衛生>>

- ・集会室のエアコンの汚れがひどい為、業者にクリーニングを依頼した。
- ・集会室の床の汚れがひどい為、毎日（日曜日は除く）、モップをかけた。
- ・害虫駆除を行った。

5. <<消防避難訓練>>

- ・昼間実施の場合に参加した。

6. <<広報>>

- ・保護者、各区役所、神戸市役所こども企画育成部に、学童新聞を発行した。
- ・新聞の内容に生活情報や豆知識等、暮らしに役立つものを加え、内容の充実を図った。

7. <<会議>>

学童委員会（月1回）

→学童に関する事（個別に対応が必要な児童、学童のルール、保護者への対応等）について学童委員長を主として、話し合いをした。今後も利用者のニーズに沿ったサービスが提供出来る様に、有意義な会議にしていきたい。

8. <<利用人数>>

初日在籍数（人）

学年 月	1年	2年	3年	合計	学年 月	1年	2年	3年	合計
4	17	19	6	42	10	15	16	5	36
5	16	19	6	41	11	15	16	5	36
6	15	19	6	40	12	15	16	5	36
7	15	19	6	40	1	15	16	5	36
8	15	17	6	38	2	15	15	5	35
9	15	17	5	37	3	15	15	5	35

9. <<行事内容>>

①のびっ慈day

→今年度も、のびっ慈dayの日は宿題をせず、子ども達のがびのびと過ごせる様、プログラム（遊び）を考えた。その中で、今年度は初めて中央体育館を利用した。いつもと違った環境で、子ども達が喜ぶ姿も見られたので、今後も地域の資源を積極的に活用していきたい。

②お別れ会

→例年、終業式の日に行っていたので、昼食前からの開始となっていたが、今年度は他の行事との関係で、日をずらした。その結果、午前中から始める事ができ、充実した内容（お菓子作り、記念品作成、ゲーム大会）を行う事が出来た。来年度も、お別れ会だけでなく、全ての行事において、利用者に満足してもらえる様、全職員で意見を出し合い、遂行していきたい。

月	日	行 事	月	日	行 事
4	8	昼食会	9	2	昼食会
	9	花見		10	のびっ慈 day (パラシュート作り)
	16	のびっ慈 day (風車作り)		14	昼食会
	27	昼食会		30	グループワーク (阪急電鉄西宮車庫見学)
5	11	昼食会	10	5	昼食会
	21	のびっ慈 day (けいどろ)		19	昼食会
	25	昼食会		29	のびっ慈 day (ハロウィンのお菓子・カード作り)
6	8	昼食会	11	31	ハロウィンパーティー
	11	のびっ慈 day (バルーンアート)		9	昼食会
	17	グループワーク (明石公園)			11
	24	個別懇談会 (希望者対象) (6/29まで)	11	18	グループワーク (大阪城・NHK大阪放送局見学)
29	昼食会	30		昼食会	
7	5	七夕 (笹等を飾る)	12	7	昼食会
	19	昼食会		9	のびっ慈 day (クリスマスの飾り作り)
	23	昼食会		25	クリスマス会
	25	ベイ板宿スイミング		27	昼食会
	29	のびっ慈 day (運動遊び)	1	7	もちつき
	30	昼食会		18	昼食会
8	1	ベイ板宿スイミング	2	20	のびっ慈 day (鬼の面作り)
	2	昼食会		3	節分 (まめまき)
	5	スイカ割り	3	8	昼食会
	6	のびっ慈 day (水遊び)		12	のびっ慈 day (デコチョコ作り)
	7	交通安全教室		22	昼食会
	8	ベイ板宿スイミング	3	3	ひな祭り (雛壇を飾る)
	9	昼食会		15	昼食会
	19	運動遊び (中央体育館)		24	お別れ会
	20	昼食会		25	昼食会
	21	のびっ慈 day (水遊び)		27	のびっ慈 day (紙飛行機作り)
	22	ベイ板宿スイミング			
	23	昼食会			
	24	地藏盆			
	26	ボランティア (昔遊び)			
	27	昼食会			
	28	ボランティア (昔遊び)			
	29	ベイ板宿スイミング			
	30	屋台村			

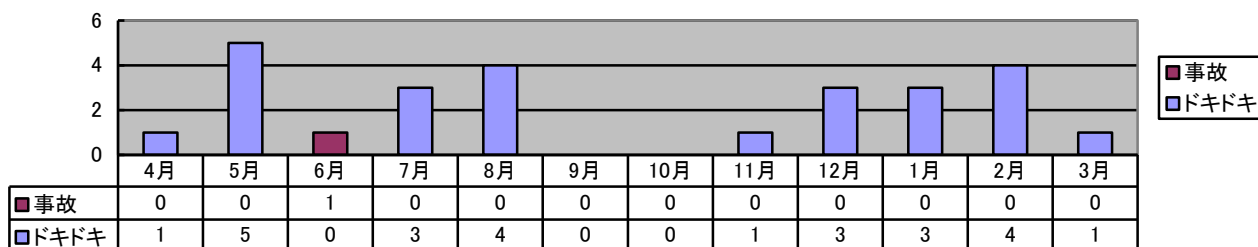
10. <<リスクマネジメント報告>>

①25年度ヒヤリハット報告件数・・・25件

※24年度年間報告件数35件

→事故は、外遊び中や遊具から落ち、右足のすねを打撲したもの。(保護者が病院へ連れて行く)

ヒヤリ報告(件数)

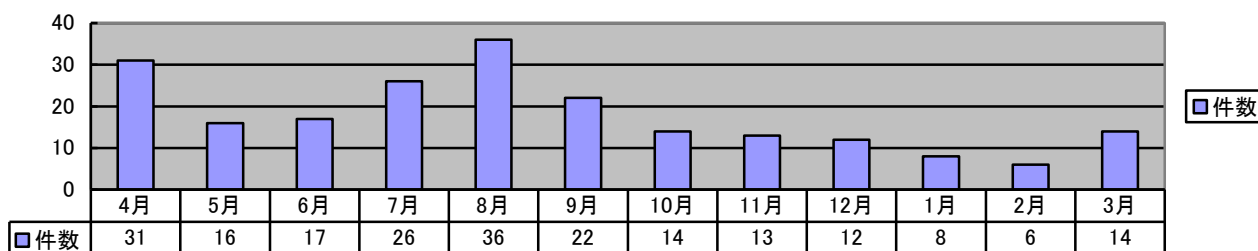


②25年度ヒヤリハット以外のケガ報告件数(ケガノート)・・・215件

※24年度年間報告件数242件

→長期休み等、学童で過ごす時間に比例して、件数も多い。

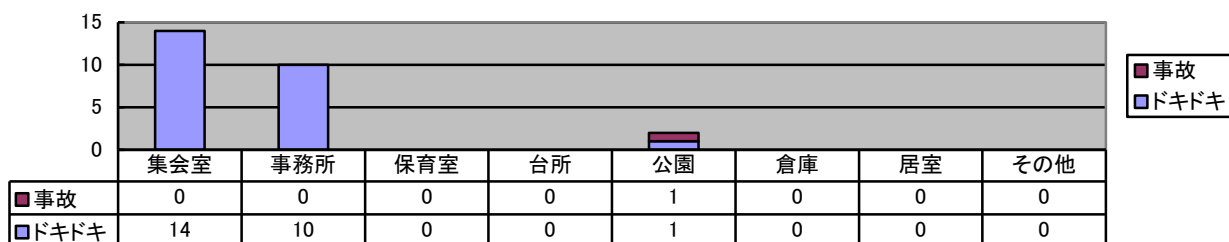
ケガ報告(件数)



③発生場所

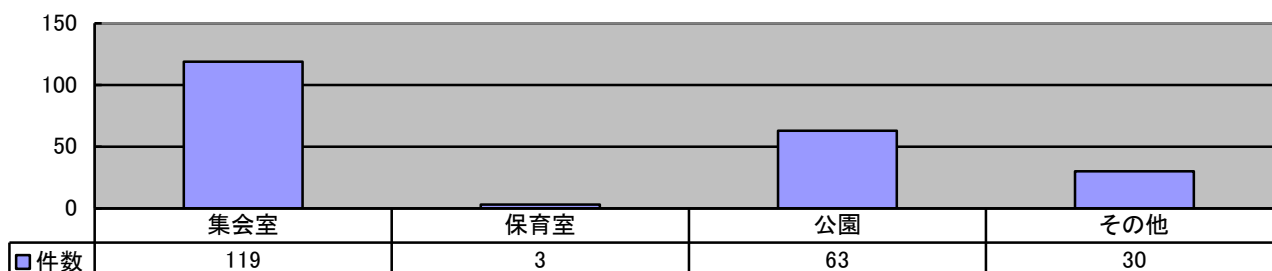
→子どもの対応に関する報告が多いので、集会室が多い。

ヒヤリ報告(件数)



→集会室で過ごす時間が最も長く、それに比例して件数も多い。

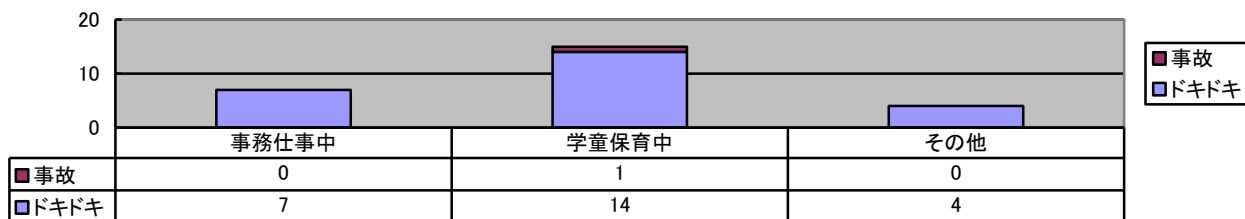
ケガ報告(場所)



④発生状況

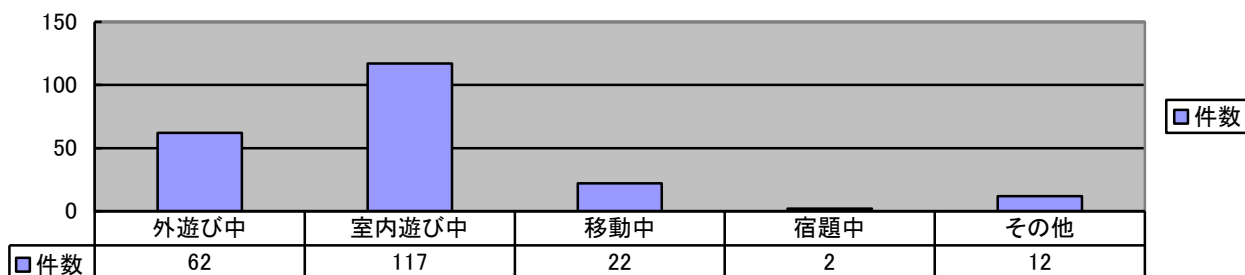
→発生場所と同様、子どもの対応に関する報告が多いので、学童保育中が多い。

ヒヤリ報告(状況)



→室内（集会室）で過ごす時間が最も長く、それに比例して件数も多い。

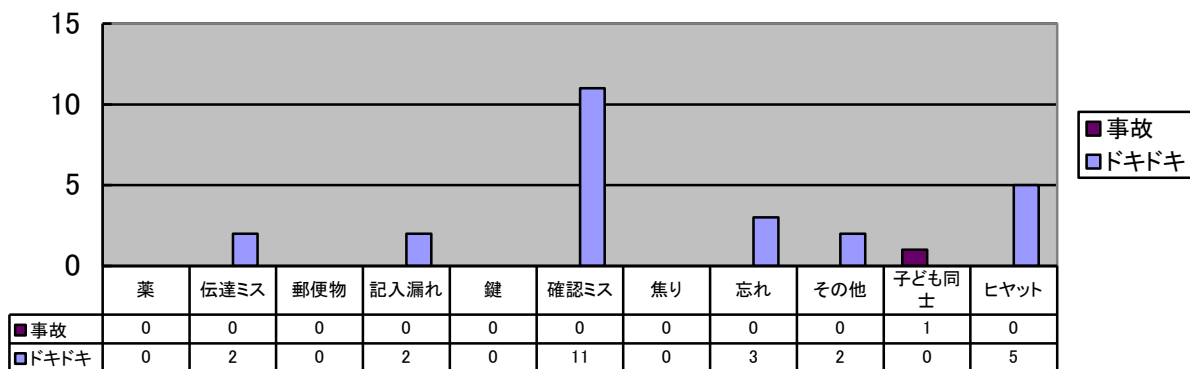
ケガ報告(状況)



⑤発生内容

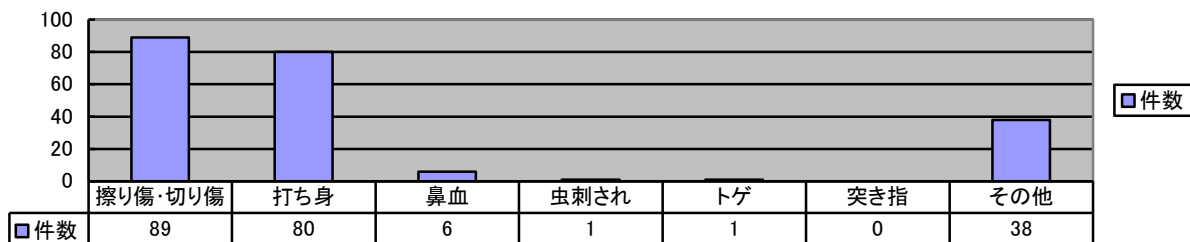
→職員の事務的ミス、対応ミスの中で、確認ミスによるものが一番多かった。

ヒヤリ報告(内容)



→遊び中に転んだり、体の一部を打つ事が多いので、擦り傷や打ち身が多い。

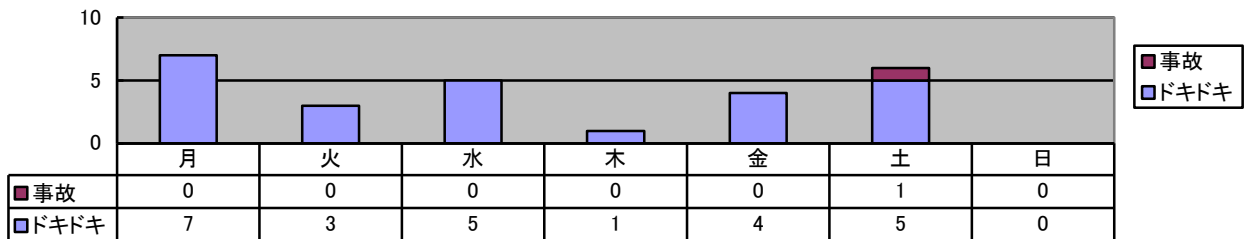
ケガ報告(内容)



⑥発生曜日

→曜日に關しての特記事項はなし。

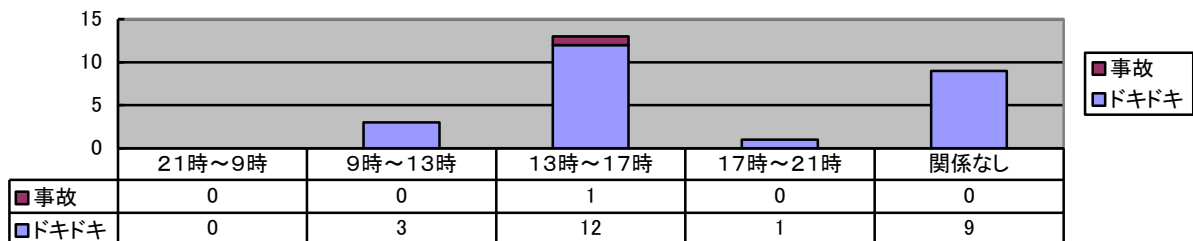
ヒヤリ報告(曜日)



⑦発生時間帯

→学童が利用する、13時～17時にかけてが1番多い。

ヒヤリ報告(時間)



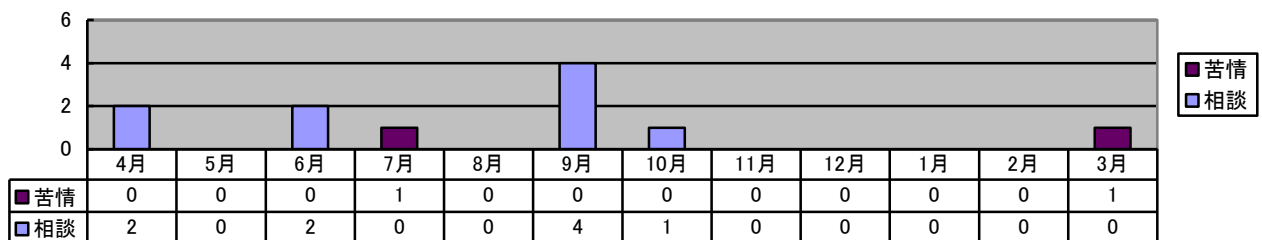
⑧まとめ

- ヒヤリ→「気付かない内に子どもが外に出ていた」や「保護者から言われた時間より早く帰らせてしまった。又は予定の時間に帰らせていなかった」という内容のものが、9件あった。1つのミスが大きなリスクに結びつき、保護者からの信頼も失うので、日常より会議等を通し、リスクの軽減に努めていきたい。
- ケガ報告→遊び中に起こるケガがほとんどで、未然に防ぐ事が難しいケースがほとんどだった。幸い、大きなケガはなかったが、いつそういった事が起こるか分からないというリスクに対して、最善な処置をする等、各職員が高い意識を持って保育出来る様、リスク会議等を通し、意識の向上に努めていきたい。

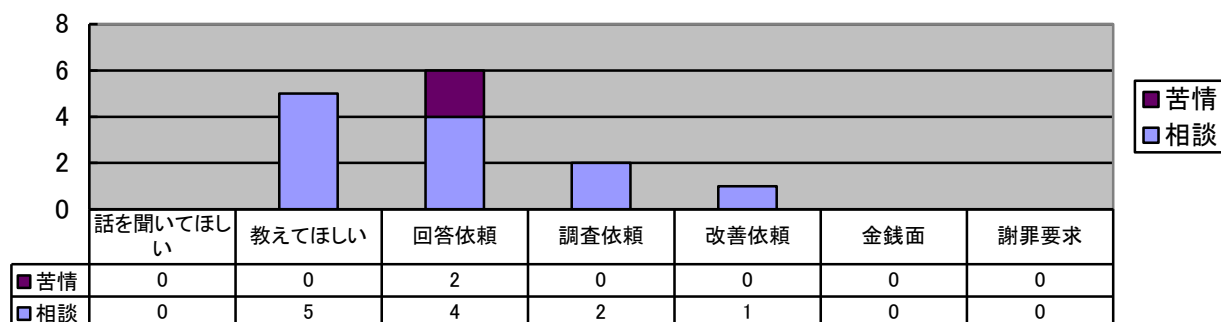
1 1. < 苦情・相談結果報告 > 苦情の定義→施設長が状況を見て、苦情か相談かを判断する。

○報告件数…苦情2件、相談9件

苦情・相談報告(件数)



苦情・相談報告(要望)



※複数回答しているため件数が多い。

○主な内容

相談→職員の対応、学童中の出来事について聞きたい、他の学童児童の行動が気になる。

苦情→学童中の出来事について聞きたい（子どもが学童へ行きたがらない為）、継続書類の提出が遅れたが継続させてほしい。

○まとめ

相談は子ども同士のトラブルについてが、一番多かった。日頃より、質の高い保育を心掛けるのは勿論、苦情があった際は二次的な苦情に繋がらない様、今後も迅速な対応を心掛けていきたい。また、利用者から信頼される学童を目指し、応えられるニーズに関しては応え、対応が難しいものに関しては、きちんと理解を求めていきたい。

1.2.《総括》

今以上に利用者に対し、良質な福祉サービスが提供出来る様、今年度より、事業計画に“中長期ビジョン”“目標”“行動計画”を新たに盛り込んだ。理由は年々、保護者より、様々なニーズが増える中で、学童としてどういった対応をするのか、各職員にどのようなスキルが求められているのか等、目指すべき方向性を明確化する為で、今後も会議等を通し、職員の意識の統一化を図っていきたい。また、地域福祉の一貫として、地域に良質な福祉サービスが提供出来る様、今後もチームとして前進していきたい。